



# 福島中だより

令和7年度  
福島中学校通信  
12月24日(水)  
第9号

【重点教育目標】認め合い、支え合い、未来を切り拓く生徒の育成(3年目)

【生徒会スローガン】日笑(にっしょう)

## 備え＋協同⇒安全・安心

福島町立福島中学校長 助川 剛

後期前半も本日で終わり、令和7年もあと7日となりました。今年の福中体育祭、見学旅行、各種校外学習、福中藝術祭など大きな学習活動を無事に実施することができました。各行事で、昨年度に増して生徒の活躍があり成長を実感できました。準備をして全力で生徒・教職員が取り組んだ成果ですし、保護者、地域の方の暖かいご声援、ご協力のおかげです。ありがとうございます。

さて、振り返ってみると今年は夏休み前からヒグマと津波の警報、注意報に複数回遭遇した年でした。

ヒグマに関しては、保護者の皆様には、お子様の送迎をしていただきありがとうございます。町役場、教育委員会の皆様には、登下校時、行事でのスクールバスの臨時的な運行などをしていただきました。校外活動においては制限されるものもありましたが、学習活動を止めることなく行うことができました。

津波に関しては、7月30日に津波警報、12月8日に津波注意報が発令されました。本校校舎は月崎地区では一番高い建物であるので、今年度から役場、教育委員会と協議し津波警報等の避難場所を本校2、3階としていました。津波警報、注意報発令時には、学校周辺の住民の皆様が避難してきました。避難場所の割り振りや案内に不慣れなところはありましたが、対応することができました。

警報、注意報に際して、生徒の命と安全・安心を守ることができたのは、「備え」と「協同」の2つのことができたからです。地震、津波発生時のための、マニュアル整備や避難場所選定、様々な状況下を想定しての訓練などの「備え」。学校、保護者、地域、町が生徒の命、安心・安全最優先でそれぞれの立場の方が力を合わせて一つにまとまる「協同」。この2つがそろって機能し、実行できたので生徒の命と安全・安心を守ることができました。

生徒の安全・安心のためにそれぞれの立場で「備え」、力と心を合わせて「協同」する。これからもよろしくお願いします。

明日から20日間の冬休みです。最後になりますが、生徒たちが事件・事故などにあうことなく、健康で元気に過ごし、37名全員が冬休み明けに元気な姿で登校してくることを願っています。



避難訓練・1日防災学校



ヒグマ対策講演会

生徒の活躍の様子は、福中ホームページ内  
ブログでご覧いただけます。

福島町立福島中学校



何よりも命を大切に、安全に気をつけて過ごしましょう  
各種相談窓口で、みなさんの不安や悩みを聞いてくれます

あなたの悩みを聴いてくれたり、相談にのってくれる存在は重要です。家族や友人、先生方などあなたの気持ちを受け止めてくれる人はたくさんいます。下記の窓口も、みなさんの心の苦しみに寄り添ってくれます。

相談窓口名称	受付	電話番号・メールアドレス
子どもの相談支援センター	毎日 24 時間対応	0120-3882-56 Sodan-center@hokkaido-c.ed.jp
児童相談所虐待ダイヤル	毎日 24 時間対応	189 (いちはやく)
少年相談 110 番	平日 8:45~17:30	0120-677-110
チャイルドライン	毎日 16:00~21:00 (12/29~1/3 除く)	0120-99-7777
子どもの人権 110 番	平日 8:30~17:15	0120-007-110
北海道いのちの電話	毎日 24 時間対応	011-231-4343

ほっかいどうこどもライン相談  
月曜のみ 17:00~22:00



親子のための相談 LINE  
平日 9:00~17:00

